



ふじあざみ

FUJI SABO news

No.
109

平成31年3月

【特集】

富士山火山噴火 に対する取組

国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

■ 富士山噴火時の情報の流れ

火山噴火時、気象庁は火山の危険性についての情報（噴火警報等）を市町村や関係機関へ連絡し、更にホームページや報道機関を通じて地域住民へ提供します。

一方、富士砂防事務所は溶岩流や降灰後の土石流等の調査・監視を行い、危険が迫った場合には住民避難の必要性等について市町村や関係機関へ情報連絡を行います。



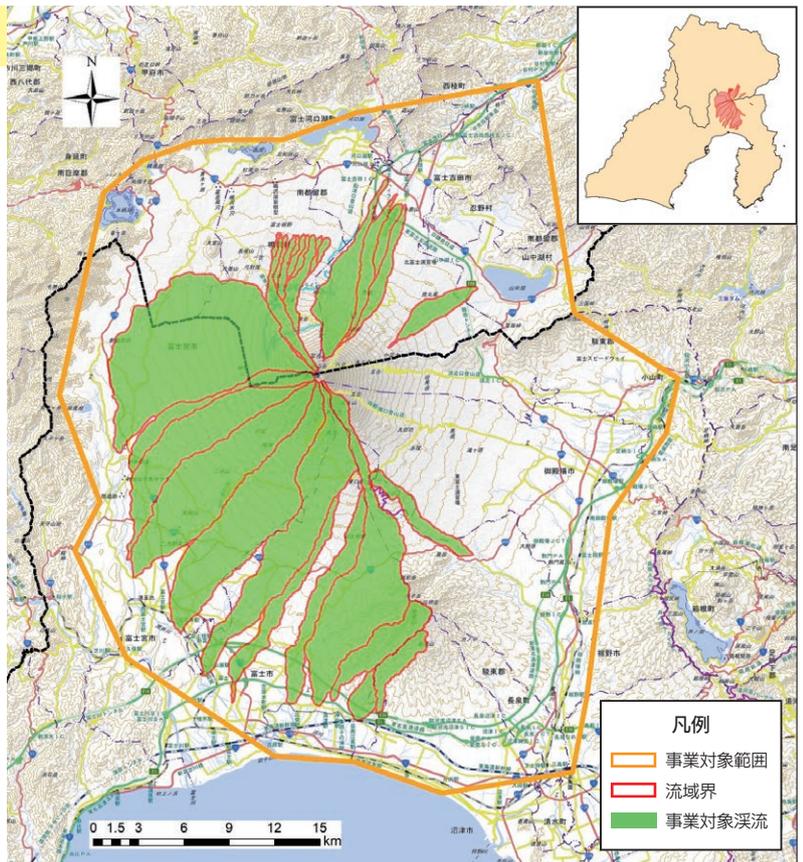
■ 富士山噴火時の役割

- 富士砂防事務所では、富士山の噴火現象に対して「ハード対策」と「ソフト対策」を実施します。
- 「ハード対策」としては、砂防堰堤や沈砂地等の整備を平常時から計画的に行うとともに、緊急時に備蓄ブロックを用いて堰堤を緊急整備する等の対応により、被害の軽減を図ります。
- 「ソフト対策」としては、火山噴火時の溶岩流や降灰後の土石流等の調査・監視を行い、危険が迫った場合には住民避難の必要性等について市町村や関係機関へ情報連絡を行います。

	ハード対策	ソフト対策
基本対策	 <p>砂防堰堤 (富士山) 沈砂地 (富士山)</p> <p>平常時から計画的に実施する。段階的に目標を定め、景観・自然環境に配慮しつつ整備を進める。</p>	 <p>監視カメラ (富士山) 土石流検知装置 (富士山)</p> <p>平常時から計画的に実施する。土砂災害のおそれがある時、あるいは土砂災害が発生した時に、効果が発揮されるよう計画する。</p>
緊急対策	 <p>コンクリートブロック備蓄 (浅間山) ブロック堰堤 (H26御嶽山)</p> <p>緊急的な対応により、被害をできる限り軽減 (減災) する。緊急対策の迅速な実施のため、資機材の備蓄等を平常時より行う。</p>	 <p>リアルタイムハザードマップ 降灰量調査訓練</p> <p>火山噴火時の状況把握や、溶岩流や土石流の危険性について関係機関への情報提供を行う。</p>

■ 砂防施設の整備

基本対策におけるハード対策は、当面は土石流危険渓流を対象に平常時より整備を進めていきます。緊急対策におけるハード対策は富士全周を対象とし、緊急時に最大限の効果が発揮される工種、工法の選定が出来るように、平常時からブロックの備蓄等の準備を行います。



事業対象範囲

噴火に対する取組

■ 富士山火山の監視体制の強化

富士山を取り巻くように監視カメラを設置し、富士山の監視を行っています。監視カメラ映像は富士山周辺市町村へ映像配信が行われており、一部映像は富士砂防事務所のホームページより閲覧することができます。



監視カメラの画像（富士砂防事務所）



監視カメラの画像（箱荒沢）



■ 降灰後の土石流の監視・予測体制の強化

火山噴火後、火山灰が多く積もった地域では少量の雨でも土石流が発生しやすくなります。このため、降灰範囲を調査し、土石流の危険性が高い渓流を把握します。その情報を関係市町村及び都道府県に通知することにより、市町村長の避難勧告等の支援を行います。火山噴火後、火山灰の量を量る降灰量調査、降った雨の地面へのしみこみにくさを測る浸透能調査を実施します。



降灰量調査訓練



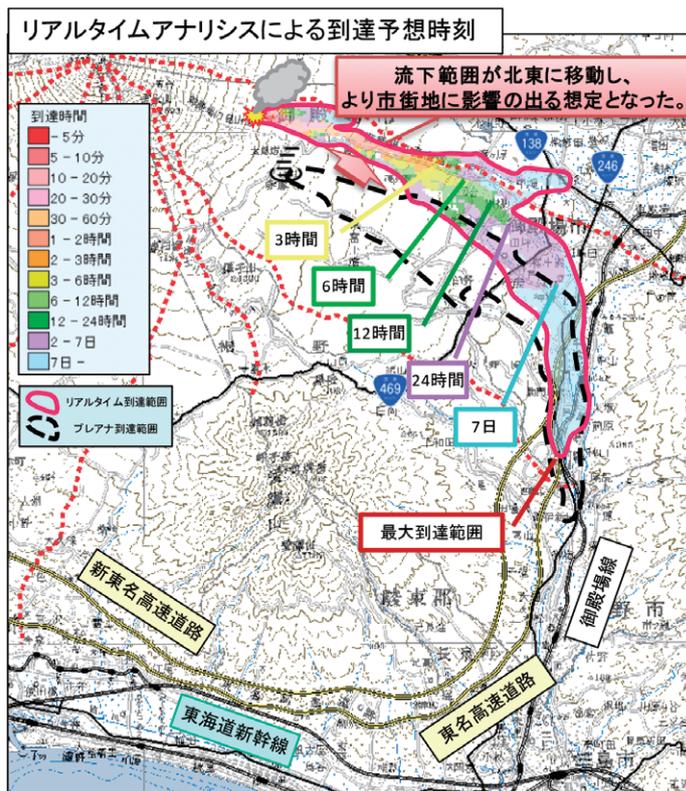
浸透能調査訓練

■ 溶岩流の監視・予測体制の強化

リアルタイムハザードマップとは火山噴火の条件に応じて変化する土砂移動現象の影響範囲等を想定したものです。事前に様々な条件のシミュレーションを蓄積した**プレアナリシス型**と、噴火時に観測をして実現象から計算条件を設定し随時シミュレーションをしてハザードマップを作成する**リアルタイムアナリシス型**の2種類があります。リアルタイムハザードマップは県、市町村、関係機関へ情報提供を行います。



リアルタイムハザードマップの操作訓練



リアルタイムハザードマップのイメージ

土砂災害から命を守るために

■身の回りの危険な区域を確認しましょう！

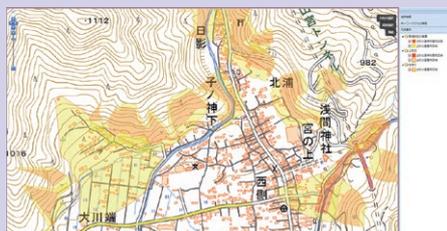
静岡県と山梨県では、土砂災害から県民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域を指定し、危険の周知や市町村の警戒避難体制の整備等のソフト対策を促進しています。いざというときに速やかに避難ができるよう、日頃からハザードマップや県のホームページで身の回りの危険な箇所を確認しておきましょう！

【静岡県土砂災害警戒区域・特別警戒区域マップ】



<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9002>

【山梨県土砂災害警戒区域・特別警戒区域マップ】



<http://www.sabomap.jp/yamanashi/>

イベント報告

■12/8「サイエンスワールド」に参加

子供たちの体験型科学イベント「サイエンスワールド」に出展しました。パネルでの説明や溶岩流3Dシミュレーションの体験を通じて、富士山の災害について学んでいただきました。



■12/12「工事安全協議会」を開催

建設労働災害の防止、安全衛生管理意識の向上を図るため工事安全協議会を開催しました。

研究発表では、(株)白鳥建設 丸田瑛氏が最優秀賞、木内建設(株) 大池正之氏、井上建設(株) 弘瀬昇氏が優秀賞を受賞されました。



■12/19「災害対策関係功労者表彰式」を開催

平成30年7月豪雨及び北海道胆振東部地震におけるTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の活動を支援し、顕著な功績があった日本総合サービス(株)静岡支店へ、中部地方整備局長からの感謝状を贈呈しました。



■12/23 JR東海「さわやかウォーキング」で由比地すべり対策事業を説明

JR東海さわやかウォーキング「富士山と駿河湾を眺めながら散策する薩埵峠」が開催され、コース内の「由比地すべり管理センター」において、由比宿の土砂災害の歴史や地すべり対策について説明しました。



■2/23-24「なんでも富士山」に参加

世界文化遺産「富士山」に関する情報を発信するイベント「なんでも富士山2019」に参加し、富士山の火山防災を中心に説明を行いました。



●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

編集作成

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100
TEL 0544 - 27 - 5221 FAX 0544 - 27 - 8759
E-mail cbr-fujisabo@mlit.go.jp 担当/用地課

■富士宮砂防出張所 〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9

■由比出張所

〒424-0922 静岡県清水区日の出町9-1 (清水港湾合同庁舎6階)

★現場見学などについては、富士砂防事務所HPの「現場見学・出前講座」の欄をご覧ください。

★ふじあざみのバックナンバーは富士砂防事務所HPからご覧いただけます。

URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>

協力：静岡県 砂防課
山梨県 砂防課



「ふじあざみ」は土砂災害による死者0を目指し、土砂災害への理解を深め、地域防災力を高めることを目的として発行しています。

また、掲載内容等は、現時点のものであり、今後、内容に変更が生じる場合もあります。